

第75回 通常総会

農畜産物支払高39億9千1万円

本組合の第75回通常総会が5月25日午前9時30分から農協2階会議室で開催されました。昨年までは新型コロナウイルスの影響から書面議決を活用しておりましたが、本年は通常通り組合員の皆様にご臨席を賜り開催致しました。

総会には正組合員164名のうち、委任・書面議決を含む115名が出席しました。(出席率70%)。

令和4年度事業報告、令和5年度事業計画の設定など6議案を審議し、全議案が原案通り可決決定されました。

開会にあたり、高橋組合長は「春先は天候に恵まれたことで植え付け作業は順調に進みました。しかしながら、生育の局面においては干ばつや曇天、降雨などに悩まされ、ほとんどの作物がその影響を受けることとなり、一部の作物を除いて計画を下回る作柄となりました。酪農畜産では、バターや脱脂粉乳の過剰在庫などの影響から生乳生産抑制を余儀なくされ、乳用雌牛価格が大幅に下落しました。和牛素牛価格についても依然として安値圏を脱することができず、厳しい状況が続いております。

このような状況下において、当組合の農畜産物の支払高は交付金を除いて39億9千1万円、経常利益で9千293万円となり、計画以上の成果を達成することができました。これもひとえに組合員皆様の日々の営農努力と組合への結集の賜物と深く感謝を申し上げます。」と挨拶しました。

令和4年度当期末未処分剰余金9千891万円、剰余金処分案では出資配当(0・8%)、事業分量配当3千198万円の明細が示され原案通り承認されました。

5年度の収支計画では、事業総利益が4億7千444万円、経常利益は3千60万円を見込んでいます。

固定資産の取得については、馬鈴薯選別カメラやコンバインなどが原案通り承認されました。

役員の選任議案についても、理事候補者1名が原案通り選任されました。



就任にあたって



代表理事組合長

中村 政昭

組合員の皆様におかれましては、豊穰の秋を願いながら、農作業に精励の毎日かと存じます。春耕も順調に進み、引き続き今後の天候を願うところであります。

私事ですが、去る5月25日開催の理事会において代表理事組合長という大任を授かりました。その責務の重大さに身の引き締まる思いであります。

さて、現在の農業情勢は、中国の穀物輸入拡大や国際紛争に円安が追い打ちをかけ、飼料・肥料など資材価格の高止まりが経営を圧迫しており、当面の間は厳しい営農環境が予想されます。このような状況下においても、皆様がよりよい環境で営農に取り組めるよう、様々な声に耳を傾け、課題や問題をともに解決していくために役職員一丸となり、全力を尽くして参ります。

協同組合の原則にあるとおり、JAは自主性に基づく組織であり、差別や制約なく誰にでも参加する権利があります。皆様が知恵を出し合い、組合の方向性を定め、将来像を創り上げていくような「組合員全員で創り育てるJA」をあるべき姿に、組織運営を進めていきたいと考えております。

歴代の組合長をはじめ、先代の方々が築いてこられた組合の歴史に敬意を表しますとともに、農業の持続可能性を確保し、地域経済の活性化を図りながら豊かな農村社会が実現できるよう、任務を果たして参る所存です。

皆様にはご理解・ご協力を切にお願いし、就任にあたっての挨拶とさせていただきます。



専務理事 松田 琢宏

新緑の候、組合員の皆様方におかれましては益々ご清栄のこととお喜びを申し上げます。
この度、第75回通常総会後の理事会において専務理事という大任をお受けすることとなりました。その責任と任務の重さをひしひしと感じております。微力ではございますが懸命に努めて参りますので、よろしくお願い致します。

さて、農業を取り巻く情勢は、円安や穀物需要の増加により資源価格が例を見ない水準で高止まりしております。酪農に関しては需給緩和による生産抑制が続き、个体販売価格も下落するなど混迷を極めています。先を見通すことが難しいですが、将来に備える思考を持ちながら地に足を着け、皆様と共に苦境を乗り越えていくことが当組合の使命であると考えます。

当組合は、農産・畜産・購買・管理・金融の5部門で構成され、総合事業を展開しております。十勝管内における組合の中では比較的小さな組織ですが、小回りが利くことを強みとして多様なニーズに応えつつ、皆様の営農と生活を支援していきます。

また、様々な課題を克服していく根幹になるのは職員です。一人ひとりが個々の能力を最大限に発揮できるよう、職場づくりにも取り組んでいきたいと考えております。

結びになりますが、皆様の益々のご健勝と豊穰の秋を迎えられることをご祈念申し上げ、就任の挨拶と致します。

幕別町畜産品評会

幕別町畜産祭りが、6月8日に幕別町南勢牧場多目的広場にて開催されました。前日の降雨から一転、天候に恵まれた絶好の共進会日和となりました。

町内各地の畜産農家の皆さんが丹精込めて育てた乳用牛25頭、肉用牛19頭、合計44頭が出陣され、体格や毛並等を競いました。審査の結果、乳用牛の部において当農協組合員出陳の「セントベール ラミー ロクシー」号が経産牛部門で最高位、同じく「サンフィールド ファンタジー ルー



ジュ」号が準最高位に輝きました。また、「オーシャイン キプリング ダール」号が未經産牛部門で準最高位を受賞しました。

品評会の後は、バーベキューやお楽しみ抽選会が行われ、参加者同士が交流を深め充実した1日となりました。

経営所得安定対策 加入申請受付

令和5年度経営所得安定対策の加入申請手続きが、6月15日より3日間の日程で農協2階会議室において実施されました。

当組合における加入申請については、小麦・大豆・てん菜・でん粉原料用馬鈴しょの生産者が対象となっており、81件（前年度85件）の申請を受け付けました。

女性部友の会 夏期研修

女性部友の会の夏期研修が6月19日に開催され、部員11名とお子さん1名が参加しました。今回は芽室町にある「明治なるほどファクトリー十勝」を訪問し、チーズなどの製造工程を見学しました。

見学後は焼肉KAGURAにて昼食を取りながら親睦を深めることができ、部員の皆さんは大満足の研修となりました。



青年部環境整備事業

青年部の環境整備事業が6月20日に開催されました。これに部員14名が参加し、依田地区の農産物加工センター及びコンバイン格納庫周辺、春日町の小麦乾燥施設、豊町の野菜集出荷センターの草刈りを実施しました。

今年度最初の事業に、お互い意見交換を行うなど有意義な時間を過ごしていました。

青年部の皆さん、ありがとうございました。

